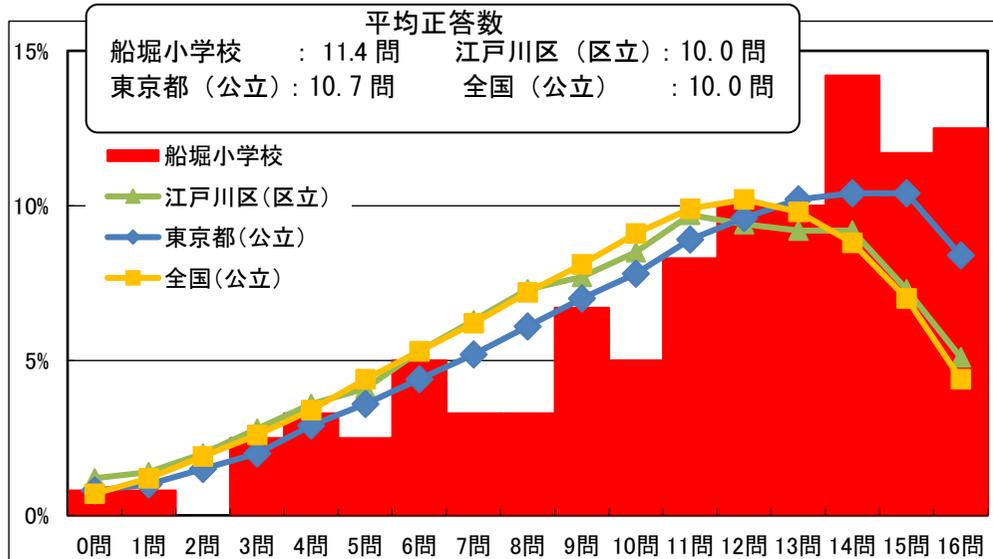




# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 船堀小学校

## 正答数分布

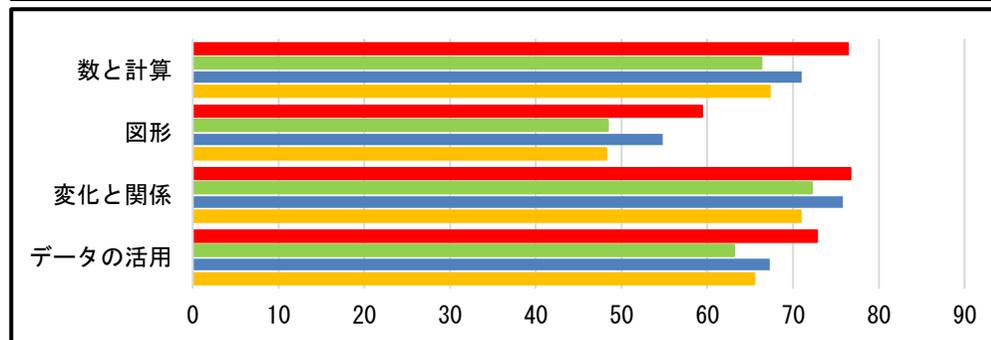
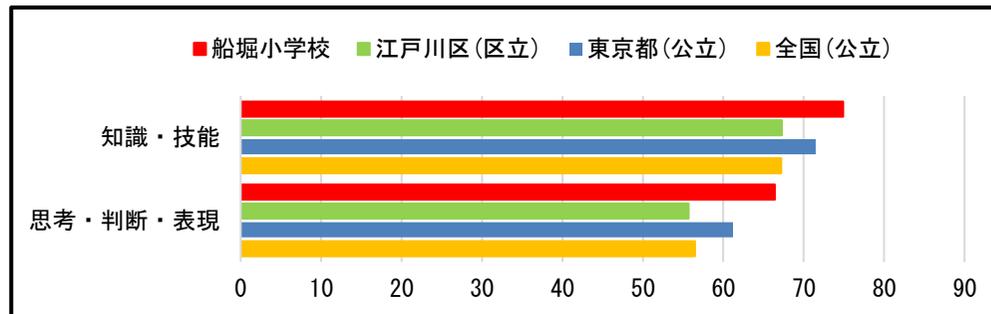


## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
船堀小学校	38.4	28.3	15	18.2
江戸川区 (区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都 (公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国 (公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率を全国では8.5ポイント、東京都では4ポイント上回っている。
- 「図形」の領域において成果が見られ、全国を約1.1%上回る結果となった。
- どの領域においても、全国・東京都の平均を上回っている。
- ◆各領域においては、「変化と関係」が低い傾向にある。また問題形式では、「記述式」の問題が他の形式より正答率が低い傾向が見られる。正答のみを目指すのではなく、課題解決のための思考の過程も大切にし、自分の考えを説明できる力をつけたい。そのために図や数直線を活用したり、他者の考えから学んだりすることを通して、思考を広げられるようにする。
- ◎全国平均が上回っていることは、家庭の理解と協力があり、家庭学習が習慣化されていると考える。引き続き協力を求めていく。

## 【平均正答率の差】

船堀小学校	71%
江戸川区 (区立)	62%
東京都 (公立)	67%
全国 (公立)	62.5%
都との差	+4ポイント